

第36回トンネル工学研究発表会開催のご案内と 土木学会論文集特集号(トンネル工学)論文およびトンネル工学報告集報告の募集

第36回トンネル工学研究発表会を開催するにあたって、論文と報告を募集いたします。若手研究者、技術者の発表（投稿）も期待しておりますので、奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

【申込み締め切り】<2026年5月11日（月）12時>

論文：申し込み時に原稿（フルペーパー）を電子入稿（PDF）

報告：申し込み時に概要（350字以内）を電子入稿（PDF）

— トンネル工学研究発表会＜概要＞ —

◆主催：（公社）土木学会 トンネル工学委員会

◆開催日：2026年10月29日（木）～30日（金）

◆場所：土木学会講堂、会議室

※ Asian Rock Mechanics Symposium（アジア各国で2年ごとに開催される国際学術会議）が11月22日から27日に福岡で開催されます。そのため、本年度の発表会は例年よりも約1か月早めに実施いたします。

1. 論文、報告の原稿に要求される性質：

論文：①理論的または実証的な研究であって、論文として評価できるもの、または独創性があり、将来の進展が期待できるもの。
②特色ある計画、調査、設計、施工、現場計測、維持管理などについて、将来の進展につながる考察を含み、論文として評価できるもの。
③テーマの適合性、新規性、有用性、完成度、信頼度に対して十分評価できるもの。

報告：特色ある計画、調査、設計、施工、現場計測、維持管理などについて新しい知見を含み、工学的に価値の高いもの。

※ 採択された論文は「予稿集」に掲載され、発表会での講演、質疑・討論を経た後、「土木学会論文集」に特集号（トンネル工学）論文として掲載されます。また、報告は「トンネル工学報告集」に掲載されます。

2. 内容の分類：

[大分類]：

I. 山岳トンネル、II. シールドトンネル、III. 開削トンネル、IV. その他（沈埋、地下空洞、推進工法など）

[中分類]：

①. 計画・調査、②. 設計、③. 施工、④. 維持管理、⑤. その他

3. 投稿方法

(1) 論文

1) 投稿の流れ

① 申し込み、一次原稿提出【2026年5月11日（月）12時締め切り】

・申し込みページ（<https://committees.jsce.or.jp/tunnel04/node/19>）から行います。

・必要な情報を入力し、一次原稿（PDFファイル）を電子投稿してください。

② 査読結果の通知【2026年7月下旬の予定】

③ 修正原稿提出【2026年8月中旬の予定】

・Revise(修正依頼)となりましたら、査読意見に従い原稿の修正を行っていただき、修正原稿を投稿していただきます。

・必要な場合は再修正を依頼することがあります。

④ 論文集用原稿提出【2026年12月上旬の予定】

・発表会後に、必要な修正を行っていただき、論文集用原稿を投稿していただきます。

2) 執筆要領

・原稿は、webサイト(<https://committees.jsce.or.jp/tunnel04/node/17>)にある「投稿要項」「原稿テンプレート」「原稿作成例」「原稿書式チェックシート」等を熟読の上執筆してください。

・ページ数：10ページを標準的な上限とし、最大20ページまで認めます。

・ファイルサイズ：10MBを上限とします。

(2) 報告

1) 投稿の流れ

① 申し込み、概要提出【2026年5月11日（月）12時締め切り】

・申し込みページ(<https://committees.jsce.or.jp/tunnel04/node/19>)から行います。

・必要な情報を入力し、報告概要を350字以内にまとめ、PDFファイルとして電子投稿してください。

② 査読結果の通知【2026年6月上旬の予定】

③ 一次原稿提出【2026年7月下旬の予定】

・掲載可となりましたら、一次原稿を投稿していただきます。

・編集小委員会が提出された原稿を確認します。

④ 修正原稿提出【2026年8月中旬の予定】

・必要な修正（主に体裁等）を行っていただき、修正原稿を投稿していただきます。

2) 執筆要領

・原稿の書式は論文に準じます。webサイト(<https://committees.jsce.or.jp/tunnel04/node/17>)にある「原稿テンプレート」「原稿作成例」「原稿書式チェックシート」等を熟読の上執筆してください。

・参考文献のリストは報告用の「原稿テンプレート」を参考に執筆してください。

・4~8ページを標準とし、最大12ページまで認めます。

・ファイルサイズ：10MBを上限とします。

4. 査読

(1) 論文

応募のあった全文論文に対し、1論文につき3名の外部査読員を選定して査読を依頼し、その結果に基づき編集小委員会で採否を決定します。なお、査読審査にあたっては、著者への問合せ、または内容の修正を求めることがあります。

(2) 報告

応募のあった報告の概要について、編集小委員会で査読を行い、採否を決定します。概要の記述が不十分で報告の内容が十分に把握できない場合や要求される性質と著しく異なる場合は採用しないことがあります。

5. 発表

論文、報告は研究発表会で発表していただきます。発表方法および講演の手引きについては web サイト (<https://committees.jsce.or.jp/tunnel104/node/18>) に掲載いたします。

6. 優秀講演賞、優秀講演奨励賞

論文、報告の発表に関して、優秀な講演者には土木学会トンネル工学委員会委員長が表彰します。ただし、表彰の選考対象は土木学会の会員に限らせていただきます。

7. その他

- 1) 論文に関しては、登載可となった場合、掲載料（発表会参加費用、論文予稿集・報告集代を含む）として、33000 円（税込）〔筆頭著者が非会員の場合は 55000 円（税込）〕をご負担いただきます。
- 2) 報告に関しては、掲載料（発表会参加費用、論文予稿集・報告集代を含む）として、11000 円（税込）〔筆頭著者が非会員の場合は 16500 円（税込）、学生の場合は 5500 円（税込）〕をご負担いただきます。
- 3) 掲載料に関する請求書は発表会終了後 1 ヶ月以内を目処に電子メールにて送付いたします。
- 4) 著者名(連名者を含む)、論文題目および講演者につきましては、論文は一次原稿受理後、報告は最終修正原稿受理後、一切変更できません。ただし、論文の題目につきましては編集小委員会の指示による場合はこの限りではありません。
- 5) トンネル工学研究発表会に参加されると CPD 単位が付与されます。
(1 日聴講で 6 単位程度、2 日間聴講で 12 単位程度となります。)
- 6) 研究発表会のプログラム公表後、発表スケジュールの変更は一切認めません。

質問等のお問い合わせは以下までお願ひいたします。

土木学会論文集特集号（トンネル工学）編集小委員会
E-mail : tunnel-journal@jsce-ml.jp